

金山水車（轟精錬所）跡・宮内家文書

県文化財保護審議会委員 日隈 正守

1 はじめに

金山水車（轟精錬所）跡は、南九州市知覧町郡に所在する。明治から昭和初期にかけて、麓川の豊富な水力を用い、水車動力により金鉱石の粉碎と精錬を行った遺跡である。平成 26 年に行われた主要地方道頴娃川辺線（知覧道路）の建設に伴う発掘調査で、導水路と水車坑、これに伴う建屋等が発見され、工事計画を変更し現地保存された。平成 29 年 4 月 21 日に鹿児島県指定文化財（史跡）に指定された。

今回報告を行うのは、金山水車（轟精錬所）跡と昨年度調査を行った金山水車（轟精錬所）跡の下流 300m に位置する水力発電所跡、並びにこれらに係る一連の許認可文書等を含む「宮内家文書」である。

2 水力発電所跡とその関連遺構

現地に残る水力発電所跡については、昨年度の文化財調査報告書において報告を行ったが、今年度調査を行った「宮内家文書」の評価にも関係するので、改めてその概要を記したい。

この水力発電所は、赤石鉱山と轟精錬所跡に送電するための自家発電施設として設置されたもので、大正 10(1921)年に設置申請を行い、大正 13(1924)に赤石鉱山への送電を開始したとされている。「電業社原動機製造所製」の銘板がある渦巻型タービンと鋼製の導水管、建屋跡、放水口等が現地に残存している。平成 30 年度に、南九州市教育員会により発電所跡の遺構や発電機について、清掃と三次元測量が実施されている（南九州市教育員会 2021）。令和 4 年に実施した文化財調査では、発電所建物跡上方斜面に築かれた導水管に接続する集水枡と落水のための導水管、発電機、排水口のほか、精錬所跡の下流 50m 付近に築かれた石堤から導水管に至る取水口、導水路（隧道含む）、放水路、これらの流水を制御するための枡などが良好に残存することを確認した（日隈 2023）。

3 「宮内家文書」について

「宮内家文書」とは、金山水車（轟精錬所）の経営に関わっていた宮内家に残されていた、明治期から昭和にかけての鉱山開発に関する記録である。現在は、宮内家から南九州市に寄託され、ミュージアム知覧に保管されている。明治から昭和にかけて宮内家に関わっていた南薩地域の鉱山開発等に関する文書で、各地の試掘権設定のための許認可申請書等のほか、金山水車（轟精錬所）及びその下流に位置する水力発電所に関する史料が含まれている。

金山水車（轟精錬所）跡に関する史料の概要及び一覧は、金山水車（轟精錬所）跡の発掘調査に伴って刊行された発掘調査報告書（鹿児島県立埋蔵文化財センター2016）に紹介されているが、宮内家文書には、この他に金山水車（轟精錬所）跡の下流 300m に現存する水力発電所跡に関する実測平面図等の資料が含まれている。その一部は、最近、上田耕氏によって紹介されている（上田 2024）。

これらを併せた「宮内家文書」の一覧を表 1～3 に示す。調査の結果、この「宮内家文書」には、金山水車跡とそれに付随する水力発電所に関する計画、許認可、その後の譲渡に関する一連の文書のほか、写真やメモ等があり、明治期から昭和初期にかけて、民間における鉱山開発の一端を如実に示している。

4 調査結果

昨年度から実施した調査では、金山水車跡の下流に現存する発電所跡とその関連遺構が現地に良好な状態で残存していることを確認した。今年度、改めて「宮内家文書」について調査を実施したところ、金山水車（轟精錬所）跡やその下流に現存する水力発電所の設置に係る文書、図面、写真等が含まれることを確認した。代表的なものとして、明治 45 (1912) 年 3 月 29 日付の轟精錬

場開設届に添付された轟精錬所全体図（図1）、大正12（1923）年6月の自家用電気工作物施設認可申請添付図面にある「宮内鉱業所自家用電気水路実測平面図」（図2）を挙げる。これらの史料に見える内容は、既往の発掘調査成果や昨年度までに調査を行った現地の状況とも概ね一致し、また金山水車（轟精錬所）跡とその下流に現存する発電所遺構について、現地では埋没等の状況により詳細が判然としない部分や未発掘の部分を含めた全体像を確認することができる。

5 評価

以上を踏まえ、改めてその評価を確認する。まず、「宮内家文書」については、平成29年に史跡指定された金山水車（轟精錬所）跡と昨年度調査を実施した、その下流に残る発電所についての調査や許認可等に関する史料が多く含まれ、既に指定されている金山水車（轟精錬所）跡に付随する、或いはこれと一体をなす価値を見いだすことができる。

さらに付言すれば、「宮内家文書」には、宮内家が主に南薩地域に関わったその他の開発関係資料も含まれている。これらは、金山水車（轟精錬所）跡と直接的な関係はないものの、近代に入って盛んに行われた民間による鉱山開発の一端を如実に証左する史料として、一体的な価値を見いだすことができよう。

他方、金山水車（轟精錬所）跡の下流300mに現存する水力発電所跡については、県内に同時期の現存例が複数ある（九州電力1969ほか）。

そうした中で金山水車跡とその下流に残る水力発電所に見いだせる意義は、やはり、大正期に全国的に拡大する水力発電が、民間経営の鉱山開発にも導入されたことを象徴的に示す遺構であるという点にある。従って、金山水車（轟精錬所）跡の下流300mに位置する水力発電所及びその関連遺構は、金山水車（轟精錬所）跡と一体をなすものとし、保護すべき価値がある。

なお、金山水車（轟精錬所）跡や昨年度調査を実施してきた水力発電所跡及びその関連遺構が残存する麓川流域には、既に県指定史跡となっている厚地松山製鉄遺跡をはじめ、豊玉姫神社の水車からくり、金山水車跡並びにそれに付随する自家水力発電所、そして、現存する九州電力麓川発電所など、近世から現代に至る水車動力に関連する史跡や遺構が多く残っている。金山水車（轟精錬所）跡とその下流に残る一連の遺構は近世から現代に至る水力利用の歴史を麓川流域という限られた地域においてコンパクトに説明し理解する上でも重要な要素となり得る。

以上を踏まえ、水力発電所跡及びその関連遺構と「宮内家文書」については、県指定史跡である金山水車（轟精錬所）跡とともに、近代になって拡大した民間による鉱山開発の代表事例として、県の文化財として指定し保護すべき価値があると考えられる。

参考文献

- 上田耕 2024 「知覧金山水車（轟精錬所）跡の発電所跡に関して」『薩南文化』15号
- 鹿児島県立埋蔵文化財センター 2016 『金山水車（轟精錬所）跡』鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書(186)
- 九州電力株式会社鹿児島支店 1969 『鹿児島の電力史』
- 日隈正守 2023 「金山水車跡」『鹿児島県文化財調査報告書』第69集
- 南九州市教育委員会 2021 『清水磨崖仏・金山（轟精錬所）跡等』南九州市埋蔵文化財発掘調査報告書（9）

表1 宮内家文書(1)

番号	名称	数量	内容	備考(ID)
1	赤石資料No1 赤石施業案	1式	216×292(表紙280×192)文書・図面一式	6715
2	赤石資料No6 資料一式	1式	試掘鉱区地図(枕崎)1 試掘鉱区地図(坊)1	6720
3	赤石資料No7 資料一式	1式	363×258 書類3枚の赤石山概要説明[コピー]	6721
4	赤石資料No8 資料一式	1式	書類等10枚(試掘願等) 山川駅前建築工事計算書類1冊	6722
5	赤石資料No9 資料一式	1式	組合解散及び鉱業権移転決議書1部津貫鉱区地図1部	6723
6	赤石資料No10 資料一式	1式	書類5部(製錬所免許関係1冊・鉱区地図)	6724
7	赤石資料No11 資料一式	1式	書類等5部(釜川水量使用願他)書類1袋(売鉱契約書・佐賀関)	6725
8	赤石資料No12 資料一式	1式	書類3部(赤石金山概況等)[コピー]	6726
9	赤石資料No13 写真アルバム(黄色)	1式	304×310×30 カラー写真66枚 [うち白黒1枚]	6727
10	赤石資料No14 写真アルバム(青色)	1式	279×324×18 カラー写真15枚 白黒写真27枚	6728
11	赤石資料No15 写真(台紙付)	1式	-	6729
12	赤石資料No16 資料一式	1式	鹿児島県和歌大会資料4冊[虫喰あり]	6730
13	赤石資料No17 資料一式	1式	審判一式佐賀関あて領収書控1冊 写真1枚	6731
14	赤石資料No18 受領公文一式	1式	210×293(表紙195×280)ファイルボックス 受領公文関係とじ本	6732
15	赤石資料No19 提出書類控一式	1式	206×290(表紙193×276)ファイルボックス 提出書類控関係	6733
16	赤石資料No20 審判一式	1式	-	6734
17	赤石資料No21 資料一式	1式	書類等(採鉱区図1冊・他図面・書類一式)カード2枚	6735
18	赤石資料No22 資料一式	1式	書類等3冊 他	6736
19	赤石資料No23 資料一式	1式	書類等図面等3袋口	6737
20	赤石資料No24 資料一式	1式	表紙220×320 全体365×247 鉱内実測及び鉱区図一式[一部シミあり]	6738
21	赤石資料No25 資料一式	1式	書類等(岩戸鉱山契約書・日本鉱業1袋・鉱区図1枚)	6739
22	赤石資料No26 資料一式	1式	岩戸鉱山に関する日本鉱業株式会社との契約書類	6740
23	赤石資料No27 岩戸サンプルマップ	1式	岩戸鉱山関係資料	6741
24	赤石資料No28 ファイルボックス	1式	382×247×20 茶色「契約書日本鉱業赤石売鉱岩戸共同」と記したラベルあり[ひも付き空箱の状態で寄託]	6742
25	赤石資料No29 ファイルボックス	1式	382×247×20 茶色空箱の状態で寄託ひもなし側面破損	6743
26	赤石資料No30 岩戸鉱山施業案等(日本工業製)	1式	ファイルボックス	6744
27	赤石資料No31 書類等一式	1式	ファイルボックス	6745
28	鈴禮鑛山開坑測量圖 他	9枚	製作者宮内敬二金銀鑛領區圖、鈴禮山開坑測量圖、断面圖、鈴礼坑内実測圖、鈴禮第二坑々内略圖(昭和8年)、他計9枚	7488
29	鈴々禮鑛山施業施業案 他綴	1式	28.5×218 4枚 製作者宮内敬二・製錬場新設願と図・知覧製錬所建築費収支決算報告と図・鉱業施業案と図他	7489
30	道路敷地取調にかかった費用の計算書	5枚	縦24.5cm横18cm文書(計算書)1枚図4枚製作者峯吉藤兵衛猿山街道から郡内湯水車までの通行道路	7490
31	明治廿八年石塔庵鑛山施業案	1冊	27×19.5 2枚綴 製作者小杉鐵三郎(福岡鑛山監督署長)	7491
32	明治廿八年常珠寺鑛山施業案	1冊	縦27cm横19.5cm (2枚綴) 1冊 製作者宮内敬二	7492
33	公用水面使用願	1冊	縦28cm横19cm 文書(公用水面使用願1枚、設計書3枚)4枚地図7枚製作者宮内敬二	7493
34	石塔庵鑛坑測量圖	1枚	縦61cm横54cm 1枚 石塔庵鑛坑測量圖尺度二千分之一	7494
35	堰塘使用願	1冊	縦28cm横20.4cm 製作者宮内敬二水面使用願二付属シタル出願文章2ページ図面1枚計2枚	7495
36	明治38年洲ヶ道鑛山施業案	1冊	縦27cm横19.5cm 2枚綴製作者宮内敬二	7496
37	公用水面使用願に対する不許可指令(南方村 枕崎)	1冊	27cm×20cm 製作者坂本?之助(鹿児島県知事)・水面使用願地実測図・堰塘設計図図面2枚、公有水面使用願、一川筋二於ケル堰塘工事費計算表、他5枚 合計9枚綴	7497
38	阿多村金銀鑛夫扶助規則施行許可願	1冊	縦28cm横20cm 製作者宮内敬二・鑛夫扶助規則施行許可願・鑛夫扶助規則計2枚綴	7498
39	知覧村金銀鑛夫扶助規則施行許可願	1冊	縦28cm横20cm 製作者宮内敬二・鑛夫扶助規則施行許可願・鑛夫扶助規則計2枚綴	7499
40	今和泉村金銀鑛夫扶助規則施行許可願	1冊	縦24.3cm横16.4cm 製作者坂元四郎助・鑛夫扶助規則施行許可願・鑛夫扶助規則計3枚綴	7500
41	公用水面使用願	1冊	縦24cm横16cm 製作者宮内敬二他2名・図面(水面使用願実測図)・公用水面使用願(知覧村郡職)、設計書、川邊郡知覧村大字郡字轟	7501
42	公用水面使用願に対する請書	1冊	縦23.7cm横16cm 3枚綴製作者宮内敬二請書(日置郡阿多村)	7502
43	公用水面使用願に対する請書と命令書	1冊	縦26.0cm横19.0cm 明治38年12月30日請書製作者宮内敬二明治38年12月7日命令製作者鹿児島縣知事千頭清臣・請書1枚・命令書4枚・図面(日置郡阿多村大字轟ノ名)計6枚綴	7503
44	公用水面使用に関する評價書・使用願	1冊	縦27.8cm横20cm 3枚図面2枚・堰塘設計図・堰塘地水面使用願地地図・評價書・公有水面使用願・工事費計算表	7504
45	田布施村金銀鑛 鑛夫扶助規則施行許可願	1式	縦24.2cm横16.5cm 製作者日高尚■・鑛夫扶助規則施行許可願1枚明治三十九年三月九日・鑛夫扶助規則2枚	7505
46	阿多村公有水面使用に関する始末書	1冊	縦24.5cm横16.8cm 製作者阿多村役場・阿多村役場より通牒・始末書・進達■・返地願計4枚綴	7506
47	釜川水面使用に関する書類	1冊	縦27.8cm横40.0cm 製作者丸野当右エ門・評價書3枚・維持方法書3枚・水量測定2枚計8枚綴	7507

表2 宮内家文書(2)

番号	名称	数量	内容	備考(ID)
48	製錬場附設図	1式	縦26.5cm横21.5cm 製作者宮内敬二製錬場開設届明治45年3月29日設計書3枚砕鉱所断面図50分の1第一精鉱所横断面図50分の1第二精鉱所横断面図50分の1製錬場周囲三百間1地形図300分の1製錬場平面図300分の1	7508
49	発電用水量使用並水路開設工事許可願・進達願 他	1冊	縦29.2cm横20.4cm 文章42ページ函面5枚[詳細はカードに記載]	7509
50	発電用水量使用並水路開設工事許可願	1式	縦28cm横20cm 文章21枚函面10枚 製作者宮内敬二 流域	7510
51	小山ヶ平鉱山報告書	1冊	縦27.8cm横20cm 製作者宮内敬二文章38ページ函面13枚(小山ヶ平鉱山図、坑内実測図、坑内実測断面図2枚、坑内実測平面図2枚、掘鉱水早工率設計図、南北製錬場工事設計図、工場設計図平面、製錬場周囲三百間ノ地形図)他[詳細はカードに記載]	7511
52	赤石岩戸小山ヶ平本道圖	1部	縦58cm横76cm 赤石岩戸小山ヶ平本道圖1200分の1	7512
53	土木關係函面	1冊	縦76cm横106.5cm 單流渦巻水車掘付圖縮尺24分の1 ・水橋断面圖・鐵管路計圖・堰堤附近平面圖・堰堤構造圖・取水口構造圖・入口設計圖・第一餘水吐及沈砂池構造圖・第二餘水吐及沈砂池構造圖・水橋構造圖・見積書計10枚	7557
54	單流渦巻水車掘付圖	1枚	縦76cm横106.5cm 單流渦巻水車掘付圖縮尺24分の1	7558
55	水橋断面圖他	1式	・水橋断面圖・鐵管路計圖・堰堤附近平面圖・堰堤構造圖・取水口構造圖・入口設計圖・第一餘水吐及沈砂池構造圖・第二餘水吐及沈砂池構造圖・水橋構造圖・見積書計10枚	7559
56	單流渦巻水車掘付圖	1綴	縦72cm横62cm 製作者川北電氣企業者九州支店・單流渦巻水車掘付圖・單流渦巻水車装置圖・抵抗器外型圖	7560
57	自家用電氣工作物施設認可申請	1冊	縦26.9cm横19.5cm22枚 製作者宮内敬太郎 自家用電氣工作物施設認可申請計畫書工事設計明細書工事落成期限書水力使用許可書及命令書	7561
58	自家用電氣工作物施設認可申請 添付函面	1式	縦39cm横54cm 製作者宮内敬太郎 送電調係一覽圖、電線接続圖、機械器具裝置圖電柱構造圖、電話回線圖、送電線路圖11枚、電氣使用工場平面圖製錬場の部、電氣使用工場平面圖坑裏の部、水路実測平面圖、水路実測断面圖、水路実測横断面圖、水路標準圖、堰堤及取水口構造圖、第一餘水吐及沈砂池構造圖、第一餘水吐構造圖、水橋構造圖、鐵管水早発電機及出放水水路構造圖、電線路一覽圖計20枚	7562
59	三相交流発電機添付圖	1枚	縦39.5cm横54cm 製作者薩南水電会社	7563
60	發電機周波数二付上中書	1冊	縦27.9cm横20cm 製作者宮内敬太郎發電機周波数二付上中書、御証明願・50サイクル→60サイクルに・薩南水電の第二発電所→鉱山の自家用に	7564
61	發電所讓渡二付名義移轉御紙	1冊	縦27.7cm横20cm 製作者宮内敬太郎發電所讓渡二付名義移轉御紙、決議書第2発電所→赤石鉱山自家用に	7565
62	第二発電所譲り渡しに關する上中書	1冊	縦27.7cm横20cm 2枚製作者宮内敬太郎	7566
63	阿多村金銀採掘原簿	2部	縦28cm横40cm 2部採掘原簿(抄本つき)	7567
64	串木野村金銀採掘原簿	1枚	縦56.2cm横79cm 函面1枚縮尺6000分の1串木野村	7568
65	串木野村金銀採掘原簿	1枚	縦56cm横78.5cm 1枚縮尺6000分の1製作者宮内敬太郎	7569
66	串木野村地内金銀採掘權區増區區許可証 他	5枚	縦24.5cm横17cm 製作者宮内敬太郎封筒箱國鐵山監督局から宮内敬太郎氏へ金銀採掘權區區許可証却下昭和4年6月22日金銀採掘權區區許可証昭和4年4月8日書類不備達譯書	7570
67	共同鑛業権者死亡=付脱退登録申請 他	1綴	縦28.1cm横20cm 共同鑛業権者死亡=付脱退登録申請共同鑛業権者任意脱退=付登録申請脱退決議書5枚	7571
68	田布施村銀鑛區合併圖	1枚	縦39cm横56cm 製作者山下芳太郎鑛業権者宮内敬二銀鑛區合併圖縮尺6000分の1	7572
69	鈴礼鑛山調査報告書他	1式	製作者河川早穂一坑道掘進捨石場略圖・本道開坑延長	7573
70	鑛業施業添添圖	2枚	縦28cm横40cm 製作者藤原兼達・特許第五一八七号鑛業施業添添圖、特許第二六八四号鑛業施業添添圖	7574
71	打越・藤ヶ迫・辨所ヶ平・八杖・立岩・各鑛床調査状況報告書	1式	縦28cm横40cm 製作者河川早穂・各鑛床掘進延尺累計表・その他メモ9枚・打越・藤ヶ迫・辨所ヶ平・八杖・立岩・各鑛床調査状況報告書2枚・打越・藤ヶ迫・辨所ヶ平・八杖・立岩・各鑛床調査状況報告書、藤ヶ迫鑛床(瀧ヶ平)坑口附近略圖、石塔鑛床坑口附近略圖、藤ヶ迫鑛床坑内實測圖・石塔鑛床■山・石塔鑛床坑内及坑口附近略圖計18枚	7575
72	鑛業施業案	1式	縦27.5cm横20cm・選鉱製錬系統圖、赤石鉱山坑内結脈ノ走向傾斜概要圖、赤石鉱山採掘選礦場略圖、製錬場發電所略圖、白澤津船橋場略圖、鑛業施業案2枚計7枚	7576
73	鈴礼鉱山書類	1式	函面(鈴礼鉱山松清迫函面他)2枚封書(佐多矢九郎宛)・計算書・手紙者1×毛紙11枚計16枚	7577
74	鈴禮鑛山坑内圖	1式	鈴禮鑛山坑内圖縮尺六百分之一昭和八年九月十六日実測製圖(破れて3枚)	7578
75	金峰山鑛山断面圖	1式	縦56cm横170cm 縦56cm横80cm 金峰山鑛山断面圖金峰山封筒	7579
76	金峰山鑛山坑内圖	1枚	80.0cm×162.0cm 金峰山鑛山坑内圖(縮尺千分之一、昭和八年十月)	7580
77	串木野鑛山鑛石代計算表 他1	1式	製作者日本鑛業株式会社佐賀關製鑛所白澤津買鑛出張所の封筒に入っている串木野鑛山鑛石代計算表(昭和9年4月分)鑛石受報告書(昭和9年4月16日)	7581
78	津貫鑛床横坑坑内略圖	2枚	縦28cm横40cm 製作者佐多矢九郎津貫鑛床横坑坑内及坑口附近略圖津貫鑛床横坑坑内略圖	7582
79	津貫鑛山坑内圖	1枚	縦79cm横96cm 津貫鑛山坑内圖(縮尺六百分之一、昭和11年6月17日)	7583
80	小山ヶ平鑛山坑内圖	2枚	38.0cm×55.0cm 79.5cm×111.5cm 坑内圖(昭和44年)小山ヶ平鑛山坑内圖(昭和11年)2枚つづり	7584
81	荒川鑛山坑内分採試料採取箇所略圖 他	5枚	28.0cm×40.3cm 試料採取箇所略圖、荒河鑛床坑内略圖、荒河鑛床坑内並試料採取箇所略圖(昭和8年)他 計5枚	7585
82	小山平鑛山事業着手届下書き 他	1冊	縦25cm横17cm 製作者宮内敬太郎・事業着手届・鑛業施業案2枚・鑛業事務所屋・鑛業代理店届計5枚1冊	7586
83	隣區區實地調査方策施願	3枚	縦24.5cm横17cm 製作者宮内敬太郎、隣區區實地調査方策施願2枚、鑛業區實地調査出願二箇シ父沙實施願未報告書	7587
84	小山ヶ平鑛山鑛業施業案 他	5枚	縦25cm横17cm 製作者宮内敬太郎・御届・鑛業施業案2枚・鑛業事務所・鑛業代理店届	7588
85	小山ヶ平鑛業施業案 他	1式	縦38.6cm横20.1cm 製作者宮内敬太郎、鑛業施業案提出書(昭和15年9月)、鑛業施業案3枚・捨石堆積場圖尺度三分の一、施業案添付圖尺度三千分の一、封筒	7589

表3 宮内家文書(3)

番号	名称	数量	内容	備考〔ID〕
86	小山ヶ平虚空藏鑿山	1式	文書5部圖1枚 製作者宮内敬太郎増産金買上規則ニ基ク産金量並創増金調査票他、探査第參査録・旧坑平面圖他、文書1綴、文書5枚、増産金買上規則ニ基ク産金量並創増金受領額調査ニ關スル件(昭和18年3月11日)小山ヶ平大正七年二月現(8. 21号)圖面他、小山ヶ平(大正7. 2月実況)(昭和8. 8. 21)圖面、封筒	/590
87	寄附申込書	1式	製作者宮内信美 寄付申込について(封筒の表紙)昭和47年2月・明細書・評仙証明圖(昭和47年2月16日)・証明圖・登記簿謄本(昭和47年2月19日)・綴・字絵圖	7591
88	荒川鑿山坑内実測圖 他1	1式	縦40cm横54cm 製作者王ノ山鑿山事務所封筒(王ノ山鑿山事務所)手紙荒川鑿山坑内実測圖(大正九年九月四日現在)縮尺千二百分之一	7592
89	荒川鑿山坑内実測圖	1枚	縦38cm横55cm 荒川鑿山坑内実測圖(大正九年九月四日現在)縮尺千二百分之一	7593
90	水量使用發電工事許可願	1式	縦28. 5cm横21cm 圖表7枚文書7枚製作者宮内敬二水量使用發電工事許可願、調查、地圖、測量觀測表、水路豫測平面圖、水路豫測縱断面圖、洪水新旧水位區、流量測定場所横断面圖、河床縱断面圖、堰堤及水路定規圖、河床縱断面補遺	7594
91	重要鑿山報告書調整心得	3枚	縦27. 3cm横19. 6cm 重要鑿山報告書調整心得(石炭、石油ヲ豫キタルモノ)他	7595
92	坑内外實測調査	1式	縦28cm横21cm 作者山下芳太郎赤石鑿山坑内外實測調査(圖面、地圖、文書)詳細はカードに記載	/596
93	麓川水利権継続書類 等	1式	縦27. 5cm横20cm 製作者宮内敬二、①麓川水利使用許可に關する書類受領書、命令書8枚、加世口土木出張所長宛書類、水面使用継続許可願、麓川約地區、村会決議書、評価書、水面使用過期経緯願、水面使用継続許可願、村会決議書、評価書	7597
94	自家用發電水量使用許可願	1式	縦27. 0cm横19. 5cm 製作者宮内敬太郎、自家用發電水量使用許可願、調查、雨量觀測表、水路豫測平面圖、水路豫測縱断面圖、河床縱断面圖、堰堤定規圖、水路定規圖、流量測定圖、洪水位背水圖	7598
95	自家用發電水利使用相續申請書	2枚	縦27. 5cm横20. 2cm 製作者宮内敬太郎・自家用發電水利使用相續申請書大正10年2月8日・庄原島集、宮内氏書類不備の通知大正10年3月7日	7599
96	自家用發電水量使用計画取下げ 他	4枚	縦27. 9cm横21. 2cm 製作者宮内敬太郎水利使用權放棄後の添削のようなもの4枚	7600
97	發電用水量使用願	1綴	縦28. 3cm横21. 0cm 製作者薩南水電株式会社、發電用水量使用願、別申請書、證書、供給區域圖、水路豫測平面圖、水路豫測縱断面圖、河床縱断面圖、堰堤及水路定規圖、流量測定場所横断面圖、新舊洪水位圖	7601
98	大止拾年改訂 鑿區探試掘期限簿	1冊	縦24. 3cm横17cm 鑿區探試掘期限調査表(探掘之部)鑿區探試掘期限調査表(試掘之部)	7602
99	第二發電所 工事施行認可申請書	1冊	縦28. 5cm横20cm 製作者宮原直二、②薩南水電工事施行認可申請書、設計書、仕様、掘鑿土砂數量計算及其処理場所表、水路流量計算表、工事費予算書、各工事設計明細書	/603
100	工事施行認可申請書	1冊	縦28. 5cm横19. 3cm 製作者薩南水電株式会社、③第二發電所第三發電所増設工事、薩南水電株式会社、川邊郡知野村郡薩南水電株式会社、工事施行認可申請書・工事設計明細書第二・第三發電所、予算書第二・第三發電所、工事落成期限書第二・第三發電所	7604
101	工事設計變更許可申請書	1冊	縦27. 8cm横19cm 製作者薩南水電株式会社、第二發電所第三發電所増設工事、薩南水電株式会社、川邊郡知野村郡薩南水電株式会社、工事設計變更許可申請書・起業目録見書・工事設計書・事業上ノ收支概算書・送電系統圖	7605
102	麓川水力發電工事 工事實施認可申請書	1式	縦28cm横20. 2cm 製作者薩南水電株式会社、工事施行認可申請書大正11年12月、設計書・掘鑿土砂數量計算及其処理場所表、土砂処理場包容量表、水路流量計算表、逆水曲線ノ計算書、工事費予算書、用地調査	7606
103	赤石鑿山發電所機械器具装置圖	9枚	縦30cm横21cm 赤石鑿山發電所建築圖第一号圖から第七号縮尺30分の1發電所機械器具装置平面圖2004分の1發電所機械器具装置側面圖24分の1發電所機械器具装置側面圖24分の1高圧三線低圧二線電話二線式4枚電話回線圖	7607
104	蓬痕化石(2)	1包	長15cm×幅7cm×高6cm 宮内信重氏により蓬痕化石1623(20060004)の寄託品あり。	/163
105	坑内實測断面圖	1枚	鑿業権者宮内敬二測量者山下芳太郎赤石鑿山坑内実測断面圖縮尺1200分の1明治44年12月末	7780
106	「圖面」宮内赤石鑿山所他 展示資料	6枚	赤石鑿山坑内実測圖(大正10年12月末)金銀鑿探掘區圖(明治43年12月19日)6000分の1製鍊場周囲三百間ノ地形圖3000分の1(鑿製鍊場の事?)探掘断面圖、第二揚鑿所横断面圖、第一揚鑿所横断面圖、鑿製鍊場(探掘)水車断面圖(明治時代)〔D7508に同様の資料の寄託があってその一部と思われるが、詳細不明の為にカード化(H23. 11. 7)〕	8023

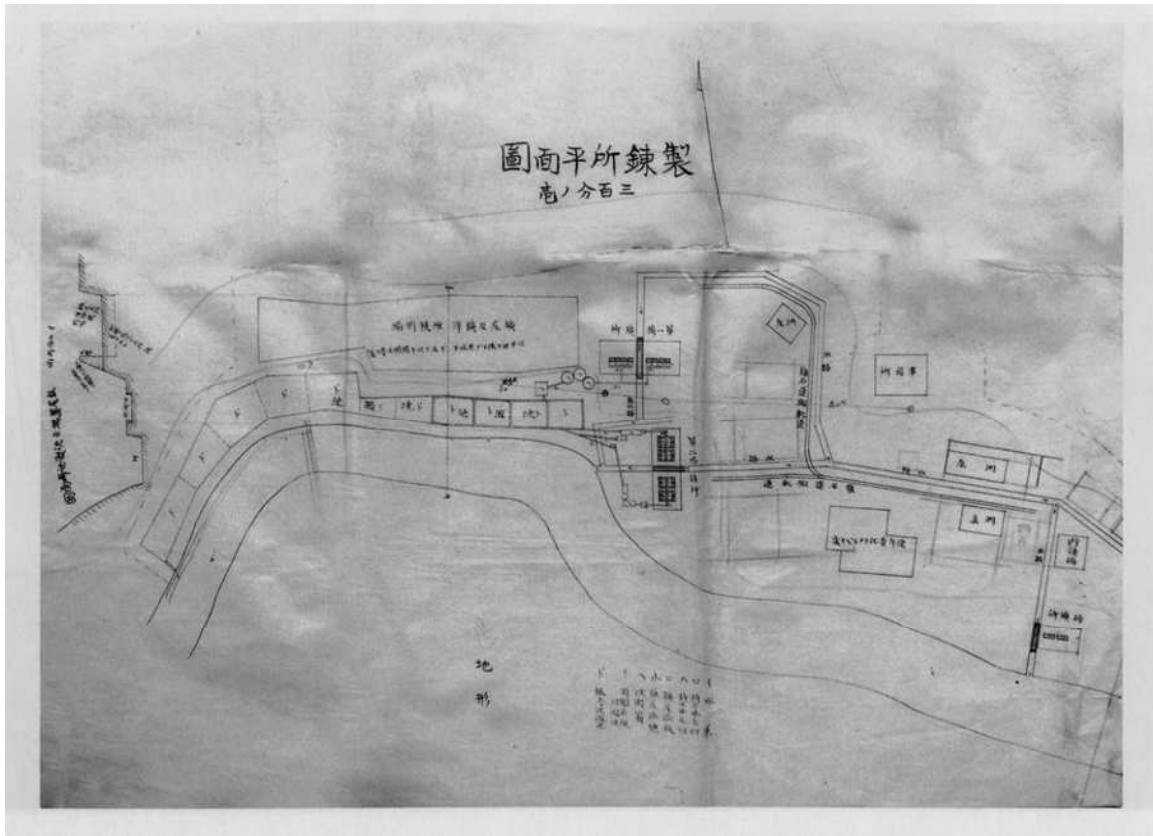


図1 明治45年3月29日付精鍊場開設届添付の轟精鍊所跡全体図（県立埋蔵文化財センター 2016）

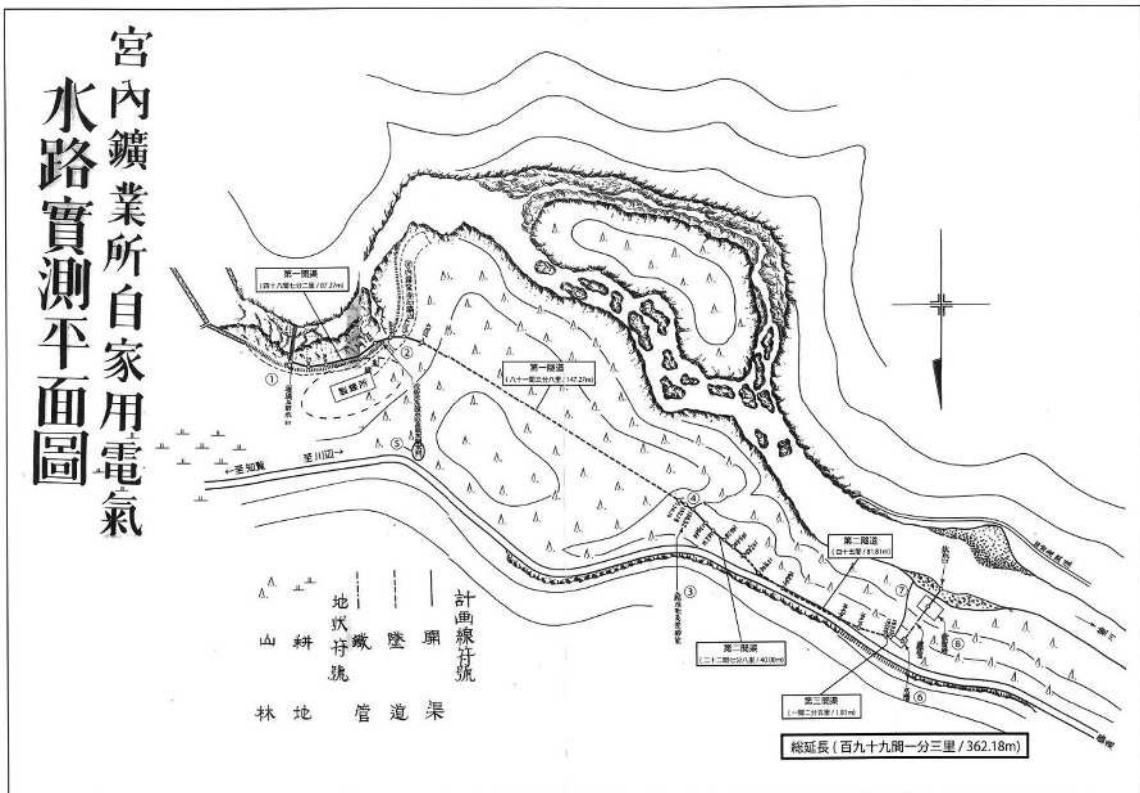


図2 大正12年6月自家用電氣工作物施設認可申請添付図の水路實測平面圖（上田 2024）

1 はじめに

鹿児島市の新島（燃島）は鹿児島湾の湾奥、桜島から約1.2 km北東方に位置し(図1 a), 桜島の一連の火山活動の一つである、安永噴火(1779～1782年)の時に急速な海底隆起の結果から形成された稀有な成り立ちを持つ地質学的に高い価値を有する島である。新島の大部分は若尊カルデラの海底噴火によって噴出された海底密度流堆積物と海底泥質堆積物（貝殻を含む地層）によって形成されており、これらの堆積物の下位には溶岩が冷え固まった安山岩が存在している(森脇他 2017, 前浜他 2021, 鹿野他 2022)。安永噴火の1年間のうちに8つの島が出現したと記録されているが、現在は4つの島（新島、硫黄島、中ノ島、及び猪子島）のみが残っており、2006年の行政区画により鹿児島市の新島町として登録されている(鹿児島市 令和2年1月)。新島は南北750m, 東西400m程の幅に広がり、海拔より20～40m程度の台地を示す(図1 a-b)。火山活動によって海面に島が現れることは日本では多いが、マグマの逃入活動の結果、水深100mを超える海底に生息した貝類化石を含む堆積層(図1 c-d)が急速に隆起し、新島のような島が形成されるのは稀で、極めて貴重な場所である。

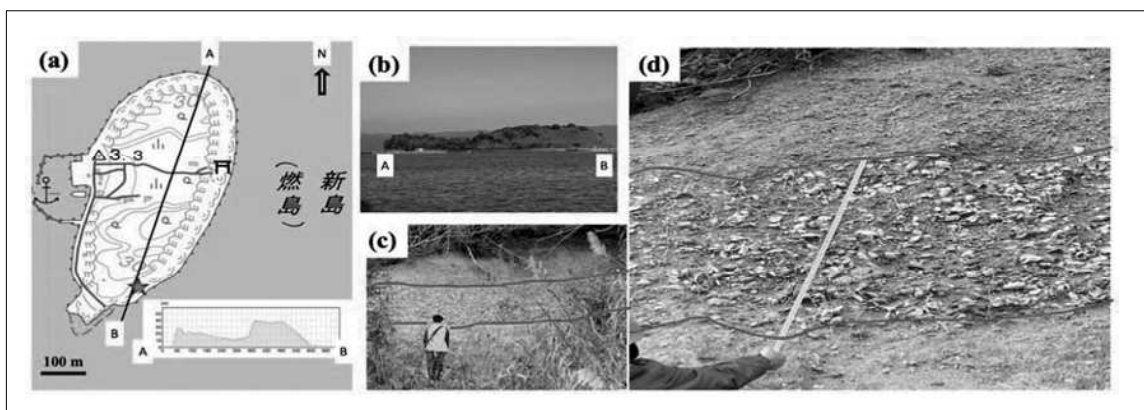


図1. (a) 新島（燃島）の地形図及び南北方向（A-B）の地形断面，(b) 新島の遠望写真，(c) 貝類化石を含む堆積層，(d) 燃島貝層の様子(図aに表示された☆が文化財に相応しい燃島貝層が露出する場所)

2 新島の地質学的特徴と文化財としての価値

新島は、縄文草創期（約13,000年前）以降の地層が露出し、火山活動による水底密度流堆積物と縄文海進期（約6,000年前）に水深100mを超える海底に生息していた貝類の遺骸殻を多数含む地層からなる。これらの地層を市内から1時間かかからない場所で直接観察できる、地質学的、古生物学的及び地理学的に貴重な場所である。火山活動による海底の急速の隆起によって、江戸時代の安永噴火以前の海底環境、縄文海進時に生息した貝類の密集層やそれ以前の若尊カルデラの噴出物を観察できる場として、国内・海外の研究者だけではなく、小中高生や一般人にとっても自然、環境及び防災教育に活用できる場所であり、地質学自然遺産、文化財として指定が不可欠である。

参考文献・引用文献

- 鹿児島市「新島」利用策, 鹿児島市 (令和2年1月), <https://www.city.kagoshima.lg.jp/kikakuzaisei/kikaku/seisaku-s/documents/documents/sinzima-rikatuyousaku.pdf> (2024年1月23日閲覧)
- 鹿野 他 2022 「鹿児島湾奥, 始良カルデラにおける後カルデラ火山活動と環境の変遷」 『地学雑誌』 128(1) pp. 43-62
- 前浜 他 2021 「新島(燃島)の後期更新世末期-完新世の石灰質微化石群集と鹿児島湾奥の古環境復元」 『地学雑誌』 127(6) pp. 363-376
- 森脇 他 2017 「テフラ編年と¹⁴C年代に基づく鹿児島湾奥, 新島(燃島)の海成堆積物の編年とその意義」 『地学雑誌』 126(5) pp. 557-579

第 2 章 国指定文化財

あまみ おおしまようさいあと
奄美大島要塞跡

1 所在地

大島郡瀬戸内町大字手安字金釜原465番1外8筆等

2 指定年月日

令和5年3月20日指定

3 特徴

奄美大島要塞跡は、奄美大島と加計呂麻島に挟まれた大島海峡東西口を中心に、大正10年（1921）から建設が開始され、その後断続的に建設された陸軍の要塞跡である。

大正7年（1918）に帝国国防方針が改定され、海軍は全艦隊を奄美大島付近に集中させ、小笠原諸島を哨戒線とすることを方針とした。これに呼応して陸軍は、小笠原諸島の父島等とともに要塞建設を開始した。しかし、大正10年～11年（1921～1922）のワシントン海軍軍縮会議の結果、工事は中止された。その後、昭和6年（1931）頃より弾薬庫や砲台が順次建設され、同15年度には奄美大島西南端の西古見砲台に榴弾砲が配備された。徳之島等に飛行場が建設されるに伴い、昭和19年（1944）に要塞司令部は事実上解消され、代わって奄美大島重砲兵連隊が駐屯した。

西古見砲台跡では4基の砲座、砲側庫、砲台弾薬庫等と、2基の観測所が、加計呂麻島東端の安脚場砲台跡では、陸軍建設の砲座4基、砲側庫等と海軍が建設した衛所等が残る。要塞司令部のあった奄美大島の古仁屋近くには手安弾薬本庫跡があり、ここから弾薬等が各砲台へ供給された。

奄美大島要塞跡は、大島海峡付近に遺構が集中的に残存し要塞全体の理解が可能であり、ワシントン海軍軍縮会議や太平洋戦争の開始など、近代日本の国防施策と密接に関連する遺跡群であることから重要である。



提供：瀬戸内町教育委員会

かごしまじょうあと
鹿兒島城跡

1 所在地

鹿兒島市城山町5番1外21筆

2 指定年月日

昭和6年6月3日指定

令和5年3月20日追加指定及び名称変更

3 特徴

鹿兒島城跡は、鹿兒島市街地を取り囲むシラス台地の南端部に築かれた中世山城である「城山」地区（上山城跡^{うえやま}）、その東南面の麓にある近世の「居館」地区、俊寛堀と吉野堀、鹿兒島湾に囲まれた外郭である「城下」地区で構成される。鹿兒島藩主島津家12代の居城となった近世城郭である。

江戸時代前期は本丸・二之丸は「城山」にあると認識されていたが、8代藩主島津重豪以降、次第に城山の麓の「居館」地区を本丸、二之丸とする認識が定着する。発掘調査^{せき}では、城山の大手口において「侍屋敷」に関係すると考えられる17世紀代の石列等^{れつ}、本丸では御殿の建物や築山・池といった庭園遺構、能舞台の橋掛り^{はしがか}等が確認された。西南戦争では鹿兒島城も戦場となり、建物が焼失、御楼門周辺の石垣にも砲弾痕、銃弾痕が残っている。

このように、鹿兒島城跡は、中世上山城を城の中心とし、近世にはその麓が島津氏の居城として拡張され、さらに近代の西南戦争も経験した重要な城郭である。



提供：鹿兒島市教育委員会

鹿児島県文化財調査報告書第70集

発行日 令和6年3月
発行者 鹿児島県教育委員会
〒890-8577
鹿児島市鴨池新町10番1号
電話099-286-5355（文化財課）